

<b>企業発展論</b>		<b>教授 谷崎 敏昭</b>	
<b>科目カテゴリー</b>	<b>国際ビジネスコースの専門 選択科目、経営・経済コースの 専門選択科目</b>	<b>科目ナンバリング</b>	<b>23202202</b>

### 1. 授業のねらい・概要

企業発展論は歴史的視点で企業の経営を研究する社会科学の一分野である。この講義は、近代資本主義の誕生とその発展過程を説明することで、現代社会の構造を明らかにすることをめざしている。日本の企業は設立後、数百年にわたり永続して経営を続けるものが多く、諸外国の企業とは、企業に対する認識が異なるようである。日本企業が、どのようにして近代化に成功したのか知ることによって、グローバル化が進み産業構造が変わっていく現代社会の本質を理解することが可能である。

### 2. 授業の進め方

授業は講義方式で行い、必要に応じてレポートの提出を指示する。

### 3. 授業計画

<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 企業の本質とその設立目的</li> <li>2. 近世の商業活動</li> <li>3. 渋沢栄一と日本の近代化</li> <li>4. 三井三菱の経営と発展</li> <li>5. 綿紡績企業の発展・新興財閥</li> <li>6. 重工業の発展と総合商社の役割</li> <li>7. 世界大恐慌</li> <li>8. 戦争経済と企業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>9. 財閥解体</li> <li>10. 労働の民主化</li> <li>11. 高度経済成長</li> <li>12. オイルショックと産業構造の転換</li> <li>13. 情報化とグローバル化</li> <li>14. バブル経済と企業経営</li> <li>15. リーマンショックと日本企業</li> </ul>
---	---

### 4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

研究室のHP (<http://tyit.blogspot.com/>) にアクセスし指示された項目について1時間程度予習、復習を行うこと。

### 5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験終了後に解説を行う。

### 6. 授業における学修の到達目標

近代株式会社制度が、どのように発展してきたのか理解し、企業が存在する理由とその目的について考える。さらに、歴史的な視点から経営に関する事柄を分析できるようにする。

### 7. 成績評価の方法・基準

試験結果 70%、授業の貢献度 30%。

### 8. テキスト・参考文献

必要に応じて指示する。

### 9. 受講上の留意事項

試験ではノートの持込を許可するので、しっかりとまとめておくこと。